

釧路市
釧路阿阿施推第 20 号
令和 4 年 4 月 25 日

内閣総理大臣 岸田 文雄 殿

釧路市長 蝦名 大也

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

アイヌ政策推進交付金事業実施要綱（令和元年 9 月 6 日付け府ア推第 5 号）第 3 条第 3 項
に基づき、アイヌ施策推進地域計画の中間評価結果について別紙のとおり報告します。

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	(中間) 目標年度
釧路市	釧路市アイヌ施策推進地域計画	令和3年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における(中間)目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備考
① 体験交流事業の参加人数(伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業)	60 人/年間	127 人/年間	211%	
② 伝承会開催回数(アイヌ音楽文化育成事業)	48 回/年間	49 回/年間	102%	
③ イベント参加者数(阿寒湖原産のヒメマス祭り(カパチェノミ)情報発信事業)	100 人/年間	150 人/年間	150%	
④ オンネチセ利用者数(阿寒湖アイヌ文化体験事業)	1,500 人/年間	2,148 人/年間	143.2%	
⑤ 相談件数(阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業)	12 件/年間	52 件/年間	433.3%	
⑥ 阿寒湖温泉延宿泊者数(アイヌ文化ガイド事業、阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業、アイヌ文化関連観光プロモーション事業、アイヌ文化フェスティバル開催事業、アイヌ文化情報発信体験拡散プロモート事業)	29 万人/年間	25 万人/年間 (速報値)	86.2%	
⑦ 制作種類(アイヌ工芸技術後継者育成事業)	2 種類/年間	3 種類/年間	150%	
⑧ 博物館入館者数(釧路市立博物館アイヌ文化展示コーナー強化事業)	1.65 万人/年間	2.03 万人/年間	123%	
⑨ 阿寒町緑町生活館、春採生活館の延べ利用人数(高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業)	5,140 人/年間	3,105 人/年間	60%	

アイヌ施策推進地域計画における(中間)	達成状況	備考
---------------------	------	----

目標		
① 体験交流事業の参加人数（伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業）	中間目標は達成した。	
② 伝承会開催回数（アイヌ音楽文化育成事業）	中間目標は達成した。	
③ イベント参加者数（阿寒湖原産のヒメマス祭り（カパチエプノミ）情報発信事業）	中間目標は達成した。	
④ オンネチセ利用者数（阿寒湖アイヌ文化体験事業）	中間目標は達成した。	
⑤ 相談件数（阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業）	中間目標は達成した。	
⑥ 阿寒湖温泉延宿泊者数（アイヌ文化ガイド事業、阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業、アイヌ文化関連観光プロモーション事業、アイヌ文化フェスティバル開催事業、アイヌ文化情報発信体験拡散プロモーション事業）	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の発出に伴う移動制限などにより、阿寒湖温泉延宿泊者数が当初の見込より減少し未達となった。	
⑦ 制作種類（アイヌ工芸技術後継者育成事業）	中間目標は達成した。	
⑧ 博物館入館者数（釧路市立博物館アイヌ文化展示コーナー強化事業）	中間目標は達成した。	
⑨ 阿寒町緑町生活館、春採生活館の延べ利用人数（高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業）	緊急事態宣言等の発出に伴い、新型コロナウイルス感染防止のために生活館の一部利用制限を実施したことにより、利用者が当初の見込より減少し未達となった。	
<p>(コメント)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による旅行需要減少の影響を受けた阿寒湖温泉延宿泊者数を中間目標に設定している各事業及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部施設の利用制限を実施した高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業以外については、中間目標を達成することができている。</p>		

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体
---------	--------

① 伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業については、生活空間の維持管理、有用植物の育成が行われている。また、体験交流事業を通じて、普及啓発を行っている。	釧路市 釧路アイヌ協会 (一社) 阿寒アイヌコンサル ルン
事業の効果	
伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業により、伝統的生活空間の維持管理と有用植物の育成を実施し、アイヌ文化の保存・継承をすることができ、また、体験交流事業を通してアイヌ文化の普及啓発をすることができた。	
事業の進捗状況	事業実施主体
② アイヌ音楽文化育成事業については、アイヌ民族の伝統楽器であるムックリやトンコリの演奏技術や伝統音楽を継承し、アイヌ音楽の作詞作曲も行っている。	釧路市 釧路アイヌ協会 (一社) 阿寒アイヌコンサル ルン
事業の効果	
アイヌ音楽文化育成事業により、アイヌ民族の伝統楽器であるムックリやトンコリの演奏技術や伝統音楽の継承をし、アイヌ民族子弟によりアイヌ語を織り交ぜたアイヌ音楽も作詞作曲され、発表会を通じてアイヌ伝統楽器や伝統音楽の普及啓発に繋げることができた。	
事業の進捗状況	事業実施主体
③ 阿寒湖原産のヒメマス祭り（カパチェプノミ）情報発信事業については、記録映像の制作とともにヒメマス祭りを中心としたアイヌ文化を紹介するパンフレットを制作することで、ヒメマス祭りに関する情報発信につながった。	釧路市 阿寒アイヌ協会
事業の効果	
阿寒湖原産のヒメマス祭り（カパチェプノミ）情報発信事業により、カムイノミをはじめとする様々なアイヌの伝統儀式が執り行われるヒメマス祭りの効果的な発信が可能となり、アイヌ文化に興味関心を持つ人の増加につなげることができた。	
事業の進捗状況	事業実施主体
④ 阿寒湖アイヌ文化体験事業については、オンネチセにアイヌアート等を展示する機能を持たせたほか、それらを多言語で紹介する解説パネルを設置した。またカムイノミ等の伝統儀式を行うための炉や伝統料理等を提供できる調理機能なども追加され、観光客などがアイヌ文化を気軽に体験できる体験メニューも開発されている。	阿寒アイヌ工芸協同組 合
事業の効果	

阿寒湖アイヌ文化体験事業については、一連の改修によりオンネチセにアイヌアート等を展示する機能のほか、カムイノミ等の伝統儀式を行うための炉や伝統料理等を提供できる調理機能などが追加され、同施設は体系的にアイヌ文化を学び体験できる場としてアイヌ文化の普及啓発のために大きな効果を発揮している。

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>⑤ 阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業については、アイヌ文化の活用に関する民間事業者等からの相談業務に取り組んでいるほか、地元企業の商品向けにアイヌ文様デザインが施された新たなパッケージを制作しアイヌ文様デザインの普及啓発につながる取組みを行っている。また、市内のバス事業者の運行する路線バスにアイヌ文様デザイン入りのラッピングバスを導入し、アイヌ文化の認知度向上に向けた取組みを行っている。</p>	<p>(一社)阿寒アイヌコンサル ン 株式会社 北日本広告 社 釧路支社</p>

事業の効果

阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業については、相談業務や広告を通じてアイヌ文様やアイヌ語などの正しい使い方等について、多くの人の理解を深めることができている。またラッピングバスの運行や商品パッケージの開発等により、アイヌ文様デザインの活用についても関心を高めることができている。

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>⑥・アイヌ文化ガイド事業については、アイヌ文化を体験できる地域の看板商品としてのガイドツアーの造成やプロモーション、マーケティング等、ツアー造成に係る支援を実施してきた。令和元年度にガイドツアーを造成したほか、令和3年度に至るまでにマニュアル整備、PR 素材（画像・動画）の作成、プロモーション等を実施し、商品造成の支援を行った。</p> <p>・阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業については、アイヌアーティストのプロモーションのため、それぞれの取り組みや商品の動画作成、スチール写真の撮影等を行った。また、アイヌコタンの更なるブランド化を図るため各種メディアとのタイアップ等により、情報発信を行ったほか、都市圏での企画展・営業活動により販路開拓を行った。</p> <p>・アイヌ文化関連観光プロモーション事業については、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」で上演される演目の磨き上げを行い、特に「イオマンテの火まつり」</p>	<p>R 元：ソーゴ印刷株式会社 R 2～3：株式会社 JTB R 元～3：阿寒アイヌ工芸協同組合</p> <p>R 元：阿寒アイヌ工芸協同組合 R 2～3：（一社）阿寒アイヌコンサル ン R 2：株式会社ロフトワーク R 元・3：株式会社電通北海道</p>

<p>は、タイトルを「阿寒ユーカラ『火のカムイの詩』」と改めるなどフルリニューアルを行ったほか、新演目制作に向けた調査を実施した。また、四季の動画制作に取り組み、冬編、夏編、秋編の3作品を完成させることができた。そのほか、発信力のあるインフルエンサーを招聘し、アイヌ文化を中心とする阿寒湖温泉の季節を代表するコンテンツを体験し、その体験記を SNS や雑誌の WEB 媒体に掲載し P R を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化フェスティバル開催事業について、令和元年度は有観客、令和2・3年度は無観客でのオンライン開催を実施し、阿寒湖のアイヌアーティストと国内外で活躍する著名なアーティストとのライブセッション等を行い、国内外に広くアイヌ文化を発信することができた。 ・アイヌ文化情報発信体験拡散プロモート事業については、これまで大阪 (R1)、鳥取・山口 (R3) において、阿寒湖のアイヌ古式舞踊等の公演活動を行ったほか、地域の観光事業者等へのプロモーション活動も併せて行っている。 	<p>R元～2：株式会社ド ソクエンタープライズ</p> <p>R2～3：株式会社 電通北海道</p> <p>R3：株式会社ノヴェロ</p> <p>R3：WOW株式会社</p> <p>有限会社ズノーネットワ クス</p> <p>株式会社 J T B 北海 道事業部</p>
<p>事業の効果</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化ガイド事業については、阿寒アイヌ工芸協同組合が催行するガイドツアーの参加者数が令和2年度174名、令和3年度249名と、新型コロナウイルス感染症の影響下においても確実に実績を伸ばしており、また参加者満足度は99%以上と非常に高水準である。 満足度の高いアイヌ文化体験コンテンツを多くの旅行者に体験いただくことで、旅行者への阿寒湖のアイヌ文化の普及・啓発や、アイヌの方々の所得向上に寄与している。 ・阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業については、メディアを活用した情報発信や都市圏での企画展で P R を行っているほか、新たな商品開発や新規販売ルートの開拓により、阿寒湖のアイヌアーティストと作品の認知度を向上させることができたほか、阿寒湖温泉の知名度を高めることができた。 ・アイヌ文化関連観光プロモーション事業については、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」で上演される演目の磨き上げを行い、「アイヌ古式舞踊」、「阿寒ユーカラ『火のカムイの詩』」、「阿寒ユーカラ『ロストカムイ』」を上演することができた。また、インフルエンサーを活用した情報発信事業では、WEB記事で18回掲載することができた。さらに、四季の動画（冬編、夏編、秋編）の3作品については、Youtubeの阿寒湖アイヌコタンチャンネルにて公開したところ合計再生回数が74万回となっており、多くの方に阿寒湖のアイヌ文化を発信することができた。 ・アイヌ文化フェスティバル開催事業の実施により、アイヌの音楽や舞踊といったアイヌ文化の認知度が向上し、ライブ中の視聴者コメントに「今年は家族で阿寒湖に行きます。」「現地で体感したい。」など書き込みがあったことから、旅行者の阿寒湖来訪需要を喚起することができた。 ・アイヌ文化情報発信体験拡散プロモート事業については、国内のアイヌ文化にあまり馴染みのない地域の方々への情報発信・普及啓発に大きな効果があるほか、アイヌ文化という地域の特色を強みにした観光プロ 	

<p>モーションという部分でも誘客効果が認められる。</p>	
事業の進捗状況	事業実施主体
<p>⑦ アイヌ工芸技術後継者育成事業については、年度ごとに異なる大型木彫作品の制作を通じて技術継承の取組みが行われているほか、令和3年度からは新たにムックリ制作技術の継承事業にも取り組んでいる。また、アイヌ文化の伝承・技術継承の拠点となる（仮称）阿寒アイヌクラフトセンターの整備にも取り組んでいる。</p>	<p>阿寒アイヌ工芸 協同組合 (株)ドーコン</p>
事業の効果	
<p>アイヌ工芸技術後継者育成事業により、制作技術の継承が危ぶまれていた大型木彫作品等について、着実に次世代を担う者に技術継承が行われている。</p> <p>また同じく制作技術の途絶が危惧されたムックリの制作技術についても令和3年度から技術継承が行われており、将来的な阿寒湖アイヌコタンでのムックリの生産に向けて取組みが進んでいる。</p>	
事業の進捗状況	事業実施主体
<p>⑧ 釧路市立博物館アイヌ文化展示コーナー強化事業については、アイヌ文化展示コーナーにおいて、Uni-Voice コードを活用した解説の多言語化（英・中（簡体字、繁体字）・韓）を実施し、既存の英語サインとあわせてインバウンドへ向けたアイヌ文化発信を充実させたほか Uni-Voice 利用のための看板やチラシも作成・設置した。また、アイヌ文化展示コーナーに映像装置を設置、既存のコンテンツを中心に、6番組の上映を開始した。</p> <p>さらにアイヌ文化紹介事業として、木彫体験講座・カエカ（樹皮繊維の糸撚り）体験講座・アイヌ刺繍体験講座を開催し、次年度以降の事業の参考とするべく、参加者を対象にアンケート調査も実施した。</p> <p>アイヌ文化展示コーナーについての展示見学の一助とするためテーマ展示解説冊子を作成し、近隣の公共施設や市内の小中学校に配布した。</p>	<p>釧路市立博物館</p>
事業の効果	
<p>釧路市立博物館アイヌ文化展示コーナー強化事業については、事業全体、特に映像コンテンツ制作にあたっ</p>	

ての内容協議や、撮影・制作を通して、博物館と釧路管内のアイヌ民族の方々との関係が強化されてきたほか、体験講座を通じて、アイヌ民族の手仕事を市民に体験してもらいながら、背景にある世界観や伝統的知識についての理解を深めてもらう機会を毎年度継続的に提供できている。

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>⑨ 高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業については、アイヌ民族高齢者が保有するアイヌの文化知見を次世代に受け継ぐため聞き取り調査を行うと同時に、山本多助氏の記述ノートや資料の翻刻を行っている。</p>	<p>(一社) 阿寒アイヌコンサル</p>
<p>事業の効果</p>	
<p>高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業により、地域のアイヌ民族の高齢者の文化知見を聞き取りし、次世代に受け継いでいく資料の作成をしている。また、山本多助氏記述ノート及び収集した資料を翻刻・デジタル化し、釧路地方のアイヌ語や文化などを明らかにし、今後のコミュニティ等活動の基礎資料を作成している。</p>	

3. 今後の方針等

(コメント)

- ① 伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業により、伝統的空間の維持管理と有用植物の育成をするとともに、体験交流事業を通じアイヌ文化の普及啓発を実施する。
- ② アイヌ音楽文化育成事業により、アイヌの伝統音楽の継承と普及啓発を実施する。
- ③ 阿寒湖原産のヒメマス祭り（カパチエプノミ）情報発信事業については、作成した記録映像を用いてヒメマス祭りの更なる効果的な情報発信につとめるほか、引き続きアイヌ文化を解説するパンフレットの制作を通じて、阿寒湖のアイヌ文化の普及啓発に取り組んでいく。
- ④ 阿寒湖アイヌ文化体験事業については、一連の改修によってアイヌ文化を体験できる機能が強化されたオンネチセをより有効に活用し、アイヌ文化の新たな体験メニュー等を開発することで、阿寒湖のアイヌ文化の普及啓発・情報発信を強化していくとともに観光客の誘客にもつなげていく。
- ⑤ 阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業については、引き続き相談業務やラッピングバスの運行、商品パッケージの開発等を通じて、アイヌ文化の正しい理解の促進と、普及啓発に向けた取組みを継続していく。
- ⑥ ・アイヌ文化ガイド事業については、ガイドツアーの多様化や付加価値向上を目指しながら、ニーズに対応するための人材確保が必要であり、阿寒アイヌ工芸協同組合と連携しつつ、新たなガイド人材の育成に取り組んでいく。
 ・阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業については、阿寒湖アイヌアーティストの取組みや商品について情報発信を継続して行う。また、更なる認知度向上および販路拡大のため、国内外問わず広く周知できる取組みを検討し、阿寒湖アイヌコタンのブランド化を図る。
 ・アイヌ文化関連観光プロモーション事業については、阿寒湖アイヌシアター「イコロ」の新演目制作に向けた取組を進め令和5年度の完成を目指す。また、国内外に向けてアイヌ文化を中心とした阿寒湖温泉の魅

力の効果的な情報発信に取り組む。

・アイヌ文化フェスティバル開催事業については、引き続き次年度以降も、アイヌ文化を国内外に向けて効果的に発信するため、著名なアーティストの発信力を活用し、アイヌ古式舞踊やアイヌ音楽とのコラボレーションによるアイヌ文化を発信する。

・アイヌ文化情報発信体験拡散プロモート事業については、引き続き国内の大都市圏やアイヌ文化に馴染みの少ない地域を中心に、伝統的なアイヌ古式舞踊等の公演活動を行うとともに、それぞれの地域の観光事業者などに対してプロモーション活動を継続することで、アイヌ文化の普及啓発はもとより観光誘客にも取り組んでいく。

- ⑦ アイヌ工芸技術後継者育成事業については、引き続き大型木彫作品等の制作を通じた工芸技術の継承を行う取組みを継続していくほか、阿寒湖アイヌコタンでのムックリ生産に向けた技術継承の取組みを行っていく。また、アイヌ文化の伝承・技術継承の拠点となる（仮称）阿寒アイヌクラフトセンターの整備により、阿寒湖のアイヌ文化を担う次世代の後継者育成に係る仕組みづくりにも取り組んでいく。
- ⑧ 釧路市立博物館アイヌ文化展示コーナー強化事業については、映像コンテンツ1作品を2022（令和4）年度に制作し、展示室にて上映するほか体験講座は引き続き地域での人材を活用して、様々な分野について継続的に実施する。また計画当初の目標に挙げていた、実物を展示することのできない貴重な資料について、来館者に紹介できる仕組みをつくる。
- ⑨ 高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業により、アイヌ民族の高齢者が保有するアイヌの文化知見の聞き取り調査と資料化を行うと同時に、故山本多助氏資料の翻刻をし釧路地方におけるアイヌ語や文化などを明らかにし今後のコミュニティ等活動の基礎資料としていく。